



Be Creative !



祝ダンス部全国大会へ！四度目の正直

山口先生、ご報告です。

ダンス部の A チーム 13 人が地区大会+動画審査の予選を勝ち上がり、12/28 に横浜で行われる全国大会に出場できることが決まりました。3 年前(2022年度)に先生に付き添っていただき、塩谷揚羽さんたちが審査員特別賞を受けたあの JHC 全国大会です。その振り付けを担当したのが他ならぬ揚羽コーチです。ダンススタジオ以降、「あの作品を眠らせたくない」という思いで、今回初めて同じ演目で別の大会にエントリーしました。3 回選ばれない状態が続き、評価されないことへの失望と、それでも踊り続ける生徒たちの身を切られるような思いを間近で見してきました。それだけに、今回の 4 度目の正直に、普段は感情を見せないメンバーも思わずワッと涙していて、こちら目頭が熱くなりました。まだ、入賞したわけではなく、入賞のための大会に出る切符を手に入れただけの段階です。ですが、どんな規模の大会でも評価されたということは素直に励みになります。表現の世界では評価の基準は明瞭ではなく、報われるか報われないかわからず、その 1 回の評価ために何度も何度も立ち上がり努力し続けることのつらさと尊さを今回初めて目の当たりにしました。これはまさに、今回のあの子たちの演目のテーマとも重なります。毎回全国大会に勝ち上がっていく和太鼓部や吹奏楽部の偉大さを改めて感じました。本日 6 時過ぎに発表があり、直接先生に報告できればと思ったのですが、日直で戻ったあとには、先生は既に帰宅された後でしたので、メールにて失礼します。教員室にはあの子たちが喜んで報告に来たようで、すでにご存知の先生もいたので先にクラスルームにあげさせてもらいました。報告の順序が前後したことご容赦ください。

ダンス部 顧問 長谷川友紀



こんなうれしい、そして先生の思いのあふれるメールが私の元に届いたのは10月の終わりのこと。「あの作品をこのまま眠らせたくない」—作品への愛が、生徒たちを全国大会出場へと結びつけていった。何よりも「諦めなかったこと」が実を結ぶ—いや「どうしても諦めきれなかった」その思いが大きな花を咲かせたのである。3 年前のことを思い出す。長谷川先生のメールに登場する、そして現在、ダンス部のコーチとして奮闘する塩谷揚羽さんは、2022年度、当時のダンス部を初の全国大会へと導いたその中心となった一人だ。塩谷さんは個人や学校外のチームにおいて海外も含む大会に出場する経験をしてきた。その「つわもの」の彼女が、何よりも喜んだのは、この学校で、そしてこのチームで全国大会に出場できたということだった。



2022年度の校長室だより12月号を振り返ってみた。大会直前の彼女たちにインタビューをした、その時の様子を記事にした。「全国大会は強豪ぞろい。優勝は難しくても何らかの賞は手にしたい！」初の全国大会、参加するだけではなく、賞を狙いに行く！と彼女たちは宣言をしたのである。彼女たちは有言実行！審査員特別賞を受賞した。彼女たちの奮闘を称え、1月号にも彼女たちのことを取り上げた。その記事に私は次のように書いた。

初の全国大会、参加するだけではなく、賞を狙いに行く！驚きました。なんと頼もしい。大会当日、結果発表・表彰式に参加できるのは部員と顧問のみでした。私や応援に来てくださった保護者や後輩

たちはロビーで待機をすることになります。表彰状を掲げてこちらに走ってくる彼女たちを想像して私たちは待ちました。彼女たちは走ってはきませんでした。彼女たちは静かにこちらに向かってきます。「入賞できなかったんだ…。そうだね。そんなに簡単じゃないよね。」そう思った時でした。一列に並んだ彼女たちがこう言ったのです。「審査員特別賞をいただきました！」その瞬間、賞状を掲げる彼女たちの顔が涙でゆがみました。「自分たちの足跡を残したいと思って頑張ってきました。有言実行することができて、こんなうれしいことはありません。」心から生徒たちを誇らしいと思いました。この瞬間に立ち会えたことに感謝する思いでいっぱいでした。

ダンス部のみんな、晴れの舞台が待っています。先月の校長室だよりに「レジリエンス」について書きましたが、吹奏楽部に続き、ダンス部が私たちに示してくれたこの「人間としての力」に学びたいと思いました。(3年前は黒い衣装が印象的なダンス部でした。クリスマスのキラキラとした横浜の街を、その薄い衣装にダウンをはおり、彼女たちは駆け抜けていきました。私にとっても、忘れられない夜として、心に残っています。)

吹奏楽部おめでとう 3年連続最優秀賞受賞！ 日本管楽合奏コンテスト出場



11月3日(月)、東京の文京シビックホールにて日本管楽合奏コンテストが開催されました。本校吹奏楽部はこの全国大会に5年連続の出場を果たすとともに、3年連続での最優秀賞を受賞しました。おめでとうございます。

2025年度私学協会優良生徒表彰



今年度、本校より3年生秋田義忠君が私学協会優良生徒として表彰を受けました。学業・部活への取り組みに加え、生徒会執行部として奮闘してきたその取り組みも合わせて評価され、表彰を受けることとなりました。おめでとうございます。



校内つれづれ

学校の北館の裏側にある畑では、里芋が豊作をむかえています。耕作に携わっている生徒の皆さんが丁寧に洗った、その里芋が玄関に干してあったりする様子に心が和みます。

3年生の皆さんもいよいよ本格的な受験のシーズンを迎えます。そして、全校生徒の皆さん、2学期の期末試験も一週間後に近づいてきましたね。学校全体が心地よい緊張感に包まれ、日々の生活が営まれることを望みます。また、2年生の皆さんは修学旅行も控えていますね。体調を整えて、ぜひ君たちにしかできない修学旅行の創造を願います。一人一人の奮闘に支えられて学校は成り立っています。皆さんの自覚ある行動に心より期待をしています。私たち教職員も頑張ります。